

# よろくぶ通信

群馬県立玉村高等学校

発行日 2022. 3. 24

第57号

発行人 校長 高尾 博

## 第63回卒業証書授与式

3月1日(月)、同窓会長倉林教夫様、PTA会長蛭川弘美様にご出席いただき、第63回卒業証書授与式が挙行されました。

今年度の卒業生は73名です。今年も新型コロナウイルス感染症予防対策で、検温の実施や卒業生保護者の出席は各家庭1名と制限があり、それだけに祝福を受けた卒業生は勿論、保護者の皆様にとっても感慨深い式になったようでした。

卒業生を代表して答辞を述べた前生徒会長の桜春凛さんは、一学年での学年合唱や、二学年での休校期間、三学年で実施できた九州修学旅行等にふれ、三年間を振り返りました。また、「多くの時間を一緒に過ごした三年生の仲間。・・・時にはぶつかることもありましたが、どんなときも支えあい、お互いを高めあえる仲間がいたからこそ、とても充実した学校生活を送ることができました。本当にありがとう。」と語り、言葉をつまらせる場面もありました。



本校の教育目標である「璞玉から珠玉へ」ということばを胸に、自信を持って自らを磨き続けてほしいと願っています。

また、卒業式に先立つ2月26日(金)を含めて、多数の者が表彰されました。

<学校表彰 学業成績優秀>

蛭川 滉太 安田 智春

<学校表彰>

アレシオ ユキ

<3カ年皆勤者>

金沢 翔太 原野 高行 菊池 沙彩

堤 風歌 合佐毘 雄斗 住谷 翔太

山田 日弥喜 阿部 倫華 田村 乃彩

<三学期の行事&次年度に向けて>

三学期は短い学期であり、また新型コロナウイルス感染症の蔓延により、いくつかの行事は中止となったこ

とは残念でした。しかし、三年生が家庭学習期間になる前に課題研究報告会(2月3日)や三年生を送る会(2月4日)がリモートではありますが実施されました。感染症対策に配慮しつつ、心に残る行事となりました。

また、3月16日（水）、後期入試の合格発表があり、来年度の入学予定者が決まりました。22日（火）には合格者オリエンテーションが行われ、新年度に向けての準備が進んでいます。



「三年生を送る会」や「課題研究報告会のリモート発表の様子です。」



## 校長室だより

### 「卒業式式辞より」

校長 高尾 博

卒業式の式辞の一部を紹介します。

卒業生の晴れの門出に当たり、一言はなむけの言葉をお贈りしたいと思います。それは、「夢に向かってコツコツ努力を続けよう。チャンスは来る。」という言葉です。

日本資本主義の父、渋沢栄一翁は夢七訓の中で「幸福を求めるものは夢を持つべきだ。」と夢を持つことの意義を説いています。栄一翁は、近代日本経済の礎を築くという、大きな夢を持ち続け、明治政府で金融・財政制度の制定に尽力した後に、民間人として第一国立銀行をはじめ多数の企業の創立に関わり次々に大きな夢をかなえていきました。「私利を追わず公益を図る」との考えを貫き通し、利益を社会に還元するため、日本赤十字社や社会福祉協議会の設立等、多くの社会貢献事業・慈善事業にも携わりました。

また、サッカー界のレジェンド、三浦知良選手も、大きな夢に向かって努力を続けチャンスを呼び込み夢をかなえた一人です。無名の高校時代、ブラジルでプロ選手になるという夢に対する監督の「99%無理」という言葉に抗い、「1%を信じます。」とブラジルに渡り、死に物狂いで練習に励みました。その結果、名門クラブで日本人初のブラジルでのプロ選手となるのです。その後、日本のワールドカップ初出場に貢献するというさらに大きな夢のため帰国し、Jリーグ初代MVPを受賞するなど活躍し、Jリーグを代表するスター選手となったのです。三浦選手は、「大切なのは毎日努力を続けること。その積み重ねが運を呼び込む。」とコツコツ努力を重ねればチャンスが来ることを教えてくれています。

以上、「夢に向かってコツコツ努力を続けよう。チャンスは来る。」という言葉について述べましたが、本校の校訓「誠実・勇気・奉仕」は、自分だけでなく社会全体が幸せになる夢に向かって、強い意志でまじめに努力することの意義を教えてくれているのです。卒業生はそれぞれ進む道は違って来ますが、校訓を胸に、自分の夢、目標に向かって着実に歩を進めていって欲しいと願っています。

私事ですが、3月末日を持ちまして定年退職となります。石川町長様はじめ玉村町役場の皆様、角田教育長様はじめ玉村町教育委員会、町立学校の皆様、町民の皆様、PTA・同窓会の皆様には大変お世話になりました。特に、広報「たまむら」での本校の紹介や、歴史資料館様による地域学習、町教委様と地域事業所様によるインターンシップ、町ライオンズクラブ様・PTA 役員様による面接指導では大変お世話になりました。おかげさまで今年度は、本校生徒の「学校が好き」という学校への肯定感が H24 の調査開始以来最高値 79.2%、町内中3生の本校志願者が昨年比+12人、22年ぶりの県立女子大学への合格、等々のうれしい結果をいただきました。本校は、H17~H19に設置された玉村高校活性化協議会での「地域に信頼され期待され貢献できる高校」「地域の子どもが自ら進んで志願する高校」という大きい目標を忘れずこれからも進化していく所存です。今後とも温かいご支援とご協力をお願い申し上げて退任のご挨拶といたします。